

競技上の注意（個人戦）

審判長：八百野 真人

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、2022年度登録の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を設ける。
 - (1) ベンチにアドバイザーは入れない。
 - (2) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (3) チェンジエンドは行う。
 - (4) 複数コートของボールの混在を避ける。
(ボールが競技領域外に出た場合、選手自身で拾いに行き、他コートの選手等が拾わない。)
 - (5) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
 - (6) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。

<進行について（別紙1・2）>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は別紙記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子ダブルス4回戦以降ならびに女子ダブルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 3 男子女子シングルス4回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女ともにダブルス全部と、シングルス2回戦までの試合、2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

<県大会出場決定戦について>

- 1 男子本戦トーナメント3回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
 - A ダブルス（県大会出場決定戦における枠数 男子：24ペア）
 - (1) 1日目に実施する。
 - (2) 第1ステージで1試合実施して32ペアの中から16ペアの勝者を抽出する。
 - (3) 第2ステージで(2)の敗者16ペアから1試合行い、8ペアの勝者を抽出する。
 - I シングルス（県大会出場決定戦における枠数 男子：40名）
 - (1) 2日目に実施する。
 - (2) 第1ステージで1試合実施して64名の中から32名の勝者を抽出する。
 - (3) 第2ステージで(2)の敗者32名から、1試合行い16名の勝者を抽出する。
 - (4) 第3ステージで(3)の勝者16名から1試合行い8名の勝者を抽出する。
- 2 3ゲームマッチ2ゲーム先取とする。
- 3 対象者は、本部にて本選の結果処理および敗者審判後、決定戦本部席で参加確認を行う。
- 4 決定戦により、県大会出場の権利を得た場合、決定戦本部席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 5 第1試合の審判は本選の敗者が行い、以降は決定戦本部席にて指定する。